

仮設住宅に住む高齢者への支援

東松島市

○生活不活発病予防を目的に仮設住宅の集会所等で運動教室を開催

- 1 目標 ①体を動かすことで心身機能低下を防ぐ
②身近な場所で行うことで、参加しやすく高齢者が元気に過ごせる
- 2 内容 ①血圧測定 ②体力測定 ③生活不活発病チェックリストの記入
④リハビリスタッフによる運動
- 3 会場 各地区集会場10ヶ所
- 4 講師 介護保険事業所セントケアの理学療法士、作業療法士
- 5 スタッフ 地域サポートセンター訪問支援員、LSA、地域包括支援センター職員



地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	東松島市
②人口（※1）	40,266人(平成25年3月31日現在) ()
③高齢化率（※1） (65歳以上、75歳以上それぞれについて記載)	65歳以上 23.79% () 75歳以上 11.72%
① 取組の概要	・ 仮設住宅入居者の生活不活発病予防のための運動教室の開催
⑤取組の特徴	・ 東部保健福祉事務所の理学療法士、市の保健師、地域包括支援センターとの企画打ち合わせ サポートセンター・介護保険事業所との連携 ・ 高齢者が参加しやすい身近な集会場での実施
⑥開始年度	平成25年3月
⑦取組のこれまでの経緯	・ 仮設住宅の入居者は、日々の生活の中で動く機会や外出する機会が少ないことから、「生活不活発病」の予防のため実施
⑧主な利用者とな数	・ 対象者 仮設住宅入居高齢者 ・ 述べ参加人数 96人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	主体：地域包括支援センター 関連団体：サポートセンター、保健所、市、介護保険事業所
⑩市区町村の関与（支援等）（※2）	・ 企画の段階で関与
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※3）	・ 保健所が企画の段階で関与
⑫取組の課題	・ 特になし
⑬今後の取組予定	・ 再度、9月と3月に教室を開催し、変化を見る。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	東松島市地域包括支援センター 0225-83-1966

※1 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を()内に記載してください。

※2 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※3 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。